

# 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成23年度 年度計画

## 目次

- 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
  - 1 医療サービス
    - (1) 良質な医療の実践
    - (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
    - (3) 災害時等の対応
  - 2 医療の質の向上
    - (1) 診療体制の強化・充実
    - (2) 病院スタッフの確保と教育・研修
    - (3) 信頼される医療
  - 3 患者サービス
    - (1) 患者サービスの向上
    - (2) ボランティアとの共働
  - 4 法令遵守と情報公開
  
- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
  - 1 運営組織
  - 2 収支改善
    - (1) 増収
    - (2) 費用削減
  - 3 人事・給与
  
- 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置  
経営基盤の確立
  
- 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
  - 1 新病院に向けた取組
  - 2 福岡市民病院の経営改善の推進
  
- 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
  - 1 予算（平成23年度）
  - 2 収支計画（平成23年度）
  - 3 資金計画（平成23年度）
  
- 第6 短期借入金の限度額
  - 1 限度額
  - 2 想定される短期借入金の発生事由
  
- 第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
  
- 第8 剰余金の使途

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

- 1 施設及び設備に関する計画（平成23年度）
- 2 人事に関する計画

## 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 医療サービス

#### (1) 良質な医療の実践

こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割に応じて医療需要の変化や新たな医療課題に適切に対応するため、次のとおり診療機能の充実に取り組む。

##### ア こども病院・感染症センター

小児救急・時間外診療体制については、薬剤部門・事務部門の体制整備を検討するとともに、夜間の小児救急電話相談事業を継続し、小児医療（高度・地域・救急）のさらなる充実に努める。

また、前年度に開設した産科については、地域の基幹病院との連携を図りながらその充実に努める。

第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、代替の医療機関が確保されるまでの間は、国（検疫所等）、県及び市と連携し、その役割を継続して果たす。

#### 【目標値】

指 標	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
1日当たり入院患者数（人）	147.8	150.0
平均在院日数（日）	9.6	9.9
1人1日当たり入院単価（円）	84,713	92,617
1日当たり外来患者数（人）	278.8	276.0
1人1日当たり外来単価（円）	10,914	10,575
手術件数（件）	2,036	2,100
救急搬送件数（件）	766	720

#### 【関連指標】

指 標	平成21年度 実績値
心臓血管外科手術件数（件）	443
小児外科手術件数（件）	365
整形外科手術件数（件）	375
心臓カテーテル検査件数（件）	590
新生児科入院患者数（人）	149
新生児循環器科入院患者数（人）	114

## イ 福岡市民病院

医療法で定められた医療計画における4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の充実に努めるとともに，地域特性等により患者の多い肝臓，腎臓，脊椎等の疾患にも適切に対応する。また，脳卒中センターの機能強化や循環器系疾患への対応強化などを進め，高度救急医療のさらなる向上を図る。

平成23年度は，患者の目線から見たわかりやすい診療体制を構築するため，臓器別のセンターに再編する。

また，チーム医療による良質な医療の提供や，拡張した救急診療室及び平成23年1月に更新した新型CTの活用によって高度救急医療のさらなる充実を図る。

### 【目標値】

指 標	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
1日当たり入院患者数（人）	183.1	187.4
平均在院日数（日）	15.1	14.0
1人1日当たり入院単価（円）	46,696	56,447
1日当たり外来患者数（人）	263.6	250.0
1人1日当たり外来単価（円）※	12,469	13,600
手術件数（件）	1,869	2,300
救急搬送件数（件）	1,931	2,100

### 【関連指標】

指 標	平成21年度 実績値
がん退院患者数（人）	792
脳卒中退院患者数（人）	288
心臓カテーテル検査件数（件）	832
糖尿病退院患者数（人）	155
肝疾患退院患者数（内科）（人）	373
脊椎外科手術件数（件）	266

## (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

### ア こども病院・感染症センター

地域医療連携室の専門スタッフを増員し，セカンド・オピニオンの受付，医療相談の充実，地域の医療機関への広報などにより，地域医療支援病院としての機能の充実を図る。

小児医療の基幹病院として，重症度に応じて救急・時間外患者に適切に対応

し、症状の安定した患者については積極的に地域の医療機関への逆紹介を行うなど、紹介率・逆紹介率をより一層高め、地域の医療機関との連携をさらに強化する。

また、前年度に配置したドクターカーを有効に活用しながら患者搬送体制の充実を図る。

保健福祉センター等の地域の保健福祉機関との連携を強化し、退院時カンファレンスの取組の強化等により医療から保健福祉への切れ目ないサービスの提供等ができるように努める。

開放型病床への登録医の拡大及びオープンカンファレンスについては、地域の診療所への広報等を行うなど、一層の利用促進に取り組む。

#### イ 福岡市民病院

地域医療機関のリーダーとして、さらなる連携の推進に努めていくために地域医療支援病院の指定を申請中である。その中で、協力医療機関の掲示や、開放型病床登録医についての参加も依頼していく。

また、患者搬送車を平成23年1月から導入しており、その活用を図ることによって、より一層連携の推進に努めていく。

オープンカンファレンスについても、メインとなる東部オープンカンファレンスを4回程度開催する他、腰痛変性疾患、脳神経疾患等に関する勉強会も開催する。

#### 【目標値】

指 標		こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
		平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
紹介率 (%)		90.2	91.0	63.3	78.0
逆紹介率 (%)		16.1	18.0	45.9	55.0
オープン カンファ レンス	回数 (回)	36	30	27	28
	参加者数 (人)	1,043	340	678	800
開放型病床への登録医 数 (人)		55	60	36	90

#### (3) 災害時等の対応

災害発生時やその他の緊急時で市長の求めがあった場合等において、福岡市地域防災計画、各種疾患の対策行動計画等に基づき、適切に対応する。

また、災害発生時等に万全な対応を図ることができるように院内防災マニュアルの整備や消防署との連携による消防・防災訓練を行うとともに、備蓄物品等の必要物品等の確保に努める。

## 2 医療の質の向上

### (1) 診療体制の強化・充実

医療のさらなる高度専門化に対応し、より安全で質の高い医療を安定的・継続的に提供するため、医療安全などのチーム医療体制を充実させるとともに、各病院において次のとおり体制整備や取組の実施を行い、診療体制の強化・充実を図る。

#### ア こども病院・感染症センター

- (ア) 地域周産期母子医療センター（申請中）として周産期医療体制の充実を図る。
- (イ) 看護師の増員により夜間看護体制を充実させる。
- (ウ) 麻酔科医を増員し、より安全で安定的な手術体制を構築する。
- (エ) 助産師を増員し、産科病床の看護体制を充実する。
- (オ) 地域医療連携室の専門スタッフを増員し、機能強化を図る。

#### イ 福岡市民病院

- (ア) 患者の目線から見たわかりやすい診療体制を構築するために、臓器別のセンターに再編し、診療体制を強化する。
- (イ) 7対1看護体制を維持し、引き続き充実した看護を提供する。
- (ウ) 栄養サポートチームや血管診療チーム、がんリハビリテーション、感染管理等チーム医療体制を充実させ、良質な医療の提供を図る。
- (エ) 診療情報管理士を増員し、診療情報管理体制のさらなる強化を図る。
- (オ) がん治療における外来化学療法を充実させる。（在宅治療の導入）
- (カ) 認定看護師等の育成により、医療の質のさらなる向上及び院内医療安全管理体制のさらなる強化を図る。（救急看護認定看護師、感染管理認定看護師、がん化学療法認定看護師）

### (2) 病院スタッフの確保と教育・研修

#### ア 医師

優れた医師を確保し、医療水準を向上させるため、処遇や福利厚生の改善を行い、育児・子育て支援等の働きやすい環境づくりについても検討する。また、研修医の受け入れ体制を整えとともに、専門医研修施設として教育・研修体制の充実等に取り組む。

#### イ 看護師

看護体制の充実に必要な人員の確保を図るため、前年度に試行した2交代制の検証を行うとともに、短時間勤務など柔軟で多様な勤務体系の導入を推進する。教育担当者の配置による新人教育を充実させるなど教育・研修システムの整備を図る。

また、認定看護師等の資格取得を奨励・支援する体制をスタートさせる。

#### 【関連指標】

指 標	こども病院・感染症センター	福岡市民病院
	平成21年度実績値	平成21年度実績値
看護実習受入施設数（施設）	5	3
常勤看護師離職率（%）	10.4	22.4

#### ウ その他医療技術職

適正な人員配置や部門間の連携強化に取り組むとともに、専門研修への参加機会の拡充、専門性向上のための資格取得等の奨励・支援体制の整備を検討するなど、教育・研修体制を充実させ、専門性や医療技術の向上を図る。

#### エ 事務職

医療を取り巻く状況に即応した経営体制を整備するため、診療報酬に関する知識を有する者等をプロパー職員として採用するとともに、その育成に取り組む。また、診療情報システム等の各種データをさらに有効に活用し、経営改善に資するための分析や、改善案の企画立案を行うために、経営企画部門のさらなる強化を図る。

### (3) 信頼される医療

市民に信頼される良質な医療を提供するため、薬剤師による服薬指導や管理栄養士による栄養食事指導を充実させるとともに、院内感染防止対策の確実な実施や医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図る。

さらに、院内感染管理者の設置を検討するなど、総合的な医療安全管理の徹底に向けた取組を進める。

また、クリニカルパスを活用した事前説明の徹底や、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得のうえで自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図るとともに、患者の希望に応じ、セカンド・オピニオンへ適切に対応する。

さらに、高度医療を担う病院として、新薬の開発等に貢献し、治療の効果や安全性を高めるため、積極的に新薬の開発治験に参加する。

こども病院・感染症センターにおいては、前年度に受審した財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価の結果を踏まえた課題の明確化と改善への取組を引き続き実施する。（福岡市民病院については、平成21年度に受審済）

【目標値】

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
服薬指導件数（件）	20	1,500	6,235	8,000
栄養食事指導件数（件）	78	220	726	950
クリニカルパス適用率 （%）	71.0	72.5	35.6	30.0

### 3 患者サービス

#### (1) 患者サービスの向上

医師、看護師等の増員による質の高い医療及び充実した看護の提供とあわせ、患者のニーズを的確にとらえるため、患者満足度調査を実施し、診療の待ち時間対策等について院内の専門委員会で検討するなど患者サービスの向上に努める。

栄養管理の観点からNST（栄養サポートチーム）活動を更に密度の濃いものとして、栄養管理体制の充実を図るとともに、患者の病態や嗜好にも配慮した患者満足度の高い病院給食の提供に努める。

さらに、医療費の支払におけるクレジットカード、電子マネーの導入について引き続き検討するなど、患者の利便性の向上に努める。

【目標値（こども病院・感染症センター）】

指 標	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
退院時アンケートの 平均評価点数（点）※	4.2	4.4

※ 全入院患者に対し、入院時にアンケートを配付し、退院時に回収

10項目の視点（職種毎の接遇状況、病室等の環境、食事内容等）に対し、各5点満点で点数を記入してもらう。

【目標値（福岡市民病院）】

指 標	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
患者満足度調査で非常に満足を感じている患者の割合（%）※	78.1	75.0

※ 職員の接遇や勤務態度等を中心に調査を実施

この調査において、非常に満足を感じられた患者の割合を記載

#### (2) ボランティアとの共働

##### ア こども病院・感染症センター

職員とボランティアが共働して互いに連携をとりながら、市民・患者の目線



に立ったサービスの向上を図るため、より細やかな取組に努める。

病棟保育士を活用し、ボランティアの協力を得て、親子ともども入院生活が過ごしやすくなるよう療養環境の向上を図る。

【関連指標（こども病院・感染症センター）】

指 標	平成 21 年度 実績値
植栽・院内飾り付け等ボランティア登録数（団体）	4
お話し会・工作教室等のボランティア登録数（団体）	4
プレイコーナーこども見守りボランティア登録数（人）	21
院内コンサート等開催数（回）	7

イ 福岡市民病院

植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施等、ボランティアとの連携を図り、市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。

【関連指標（福岡市民病院）】

指 標	平成21年度 実績値
植栽ボランティア登録数（団体）	1
患者との対話ボランティア登録数（人）	1
院内コンサート開催数（回）	3

#### 4 法令遵守と情報公開

市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、必要に応じて内部規程の改正を行う。また、倫理委員会によるチェック等を通じ、役職員の行動規範と倫理の徹底を図る。

個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）や受療者の個人情報の保護に関する院内規則及び診療情報の提供に関する要領等の院内規程に基づき、適切に対応する。

また、法人の経営状況、専門医療に関する情報、各病院の役割及び医療内容、地域の医療機関との連携等について、ホームページや講演会等を通じ、情報発信に取り組む。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 運営組織

市立病院機構の運営を的確に行うため、本部事務局などの組織体制の充実を図るとともに、市立病院機構内での適切な権限配分に基づき、各病院においては、病院長がリーダーシップを発揮し、効果的・効率的な経営を推進する。

また、病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用や、医療の専門知識を有する医療技術職の事務部門への配置等、弾力的な人事管理を行い、必要に応じて医療経営コンサルタント等も活用しながら診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築する。

さらに、各医療従事者が病院経営により積極的に参画できる仕組みづくりを進め、看護部については、看護部長及び新たに設置した副看護部長が中心となって、看護部全体の経営意識の高揚などに努める。

### 2 収支改善

#### (1) 増収

診療体制の充実や病床利用率の向上、高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。

また、診療報酬請求に係るチェック体制を強化し、請求漏れや査定減を防止するとともに、コンビニ収納等の拡大による未収金発生の防止や法的措置も含めた未収金回収マニュアルの作成等により、未収金対策の強化に取り組む。

〈こども病院・感染症センター〉

ア 効率的なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上を図る。

イ 入院患者数の増加に対応した看護師数を確保し、小児入院医療管理料1の全病棟適用を維持する。

〈福岡市民病院〉

ア 地域医療連携室を通じて地域医療支援機能を充実させ、開放型診療体制の拡大、紹介率の向上等により患者の増加を図り、また、共同利用による高度医療機器の稼働率向上等に努め、収入増を図る。

イ 平成23年1月に更新した新型CTの活用によって高度救急医療の更なる充実を図るとともに、患者増、収入増にもつなげていく。

ウ 栄養サポートチームによる栄養指導の充実やがんリハビリテーションの実施など、チーム医療体制を強化する。

【目標値】

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
病床利用率 (%) ※ 1	77.8	78.9	91.8	93.7
新規入院患者数 (人)	5,069	5,170	3,945	4,100
平均在院日数 (日) ※ 2	9.6	9.9	15.1	14.0
1人1日あたり入院単価 (円) ※ 2	84,713	92,617	46,696	56,447
1日あたり外来患者数 (人) ※ 2	278.8	276.0	263.6	250.0
1人1日あたり外来単価 (円) ※ 2	10,914	10,575	12,469	13,600
手術件数 (件) ※ 2	2,036	2,100	1,869	2,300
救急搬送件数 (件) ※ 2	766	720	1,931	2,100
診療報酬請求査定減率 (%)	0.25	0.20	0.14	0.10

※1 こども病院・感染症センターは、一・二類感染症を除く。

※2 再掲

(2) 費用削減

予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行い、効果的・効率的な事業運営に取り組む。

また、診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や契約手法及び委託業務の見直し、ジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。

さらに、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化、既存施設の有効活用などのアセットマネジメントを推進する。

【目標値】

(単位：%)

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
材料費対医業収益比率	22.0	19.9	30.1	25.9
うち薬品費対医業 収益比率	7.2	6.1	9.7	9.9
うち診療材料費対 医業収益比率	13.8	13.1	19.2	15.8
委託費対医業収益比率	8.7	8.0	11.9	11.1
ジェネリック医薬品導 入率	5.6	7.0	14.7	21.0

### 3 人事・給与

職員の業績や能力等を客観的な基準で評価し、その結果を給与に反映させることにより、職員のモチベーションの維持・向上等を図るため、平成23年度については、医師を対象とした人事評価制度を導入する。

また、他職種への導入については、引き続き検討を行う。

職員の働きやすい環境を確保するため、福利厚生の実施や職場環境の整備に努める。

【目標値】

(単位：%)

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
病院職員の給与費対医 業収益比率	55.0	62.0	55.9	56.9
		(退職給付費用を除く。) 59.3		(退職給付費用を除く。) 54.4

※ 平成21年度の給与費は、退職手当を含まない。

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 経営基盤の確立

市からの運営費負担金繰入後の経常黒字が達成できる経営基盤を確立するため、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。

また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。

【目標値】

(単位：%)

指 標	こども病院・感染症センター		福岡市民病院	
	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値
総収支比率	100.0	100.8	100.4	107.2
経常収支比率	100.3	101.0	100.7	107.6
医業収支比率	96.3	82.9	90.1	92.2

※ こども病院・感染症センターの医業収支比率は、新病院開院を控え、建物の減価償却費が増加することにより下落している。

#### **第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置**

##### **1 新病院に向けた取組**

新病院整備等事業については、福岡市において「こども病院移転計画調査委員会」が設置され、検証が行われている。

このため、PFI事業の入札手続きについては、調査委員会による検証が行われる期間は、事業者の選定作業を中断することとし、当面は、主に運営業務に係る業務分析、現場調整及び委託方法の検討など、検証の結果に左右されないものについて取組を進めるとともに、検証後は福岡市から示される方針に従って新病院整備に取り組んでいく。

##### **2 福岡市民病院の経営改善の推進**

引き続き、この計画による経営改善の取組を着実に進め、質の高い医療の提供及び患者サービスの向上に努めるとともに、経営の効率化を図る。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（平成23年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		11,917
医業収益		10,548
運営費負担金収益		1,334
補助金収益		35
営業外収益		197
運営費負担金収益		124
その他営業外収益		73
資本収入		405
運営費負担金		0
長期借入金		402
その他資本収入		3
その他の収入		0
計		<b>12,519</b>
支出		
営業費用		10,939
医業費用		10,654
給与費		6,351
材料費		2,387
経費		1,839
資産減耗費		1
研究研修費		77
一般管理費		285
営業外費用		213
資本支出		1,203
建設改良費		408
償還金		793
その他資本支出		3
その他の支出		37
計		<b>12,392</b>

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額 6,520 百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

[運営費負担金の繰出基準等]

高度・小児医療等の不採算経費及び救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

## 2 収支計画（平成23年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収益の部		<b>12,836</b>
収益の部	営業収益	12,639
	医業収益	10,548
	運営費負担金収益	1,334
	補助金収益	35
	資産見返負債戻入※	722
	営業外収益	197
	運営費負担金収益	124
	その他営業外収益	73
	臨時利益	0
	費用の部	
費用の部	営業費用	12,150
	医業費用	11,861
	給与費	6,299
	材料費	2,387
	経費	1,839
	減価償却費	1,240
	資産減耗費	19
	研究研修費	77
	一般管理費	289
	営業外費用	213
臨時損失	37	
純利益		<b>436</b>
目的積立金取崩額		0
総利益		436

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）減価償却費 1,240 百万円は、※印の資産見返負債戻入相当額 722 百万円を含む。

### 3 資金計画（平成23年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	<b>13,137</b>
業務活動による収入	12,117
診療業務による収入	10,548
運営費負担金による収入	1,459
その他の業務活動による収入	110
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	402
長期借入れによる収入	402
その他の財務活動による収入	0
前年度からの繰越金	618
資金支出	<b>13,137</b>
業務活動による支出	11,189
給与費支出	6,520
材料費支出	2,387
その他の業務活動による支出	2,282
投資活動による支出	410
有形固定資産の取得による支出	408
その他の投資活動による支出	3
財務活動による支出	793
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	793
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	745

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。



## 第6 短期借入金の限度額

### 1 限度額

2, 000百万円

### 2 想定される短期借入金の発生事由

ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応

イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応

## 第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

なし

## 第8 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。

## 第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

### 1 施設及び設備に関する計画（平成23年度）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設，医療機器等整備	408	福岡市長期借入金等

### 2 人事に関する計画

職員の業績や能力等を客観的な基準で評価し，その結果を給与に反映させることにより，職員のモチベーションの維持・向上等を図るため，平成23年度については，医師を対象とした人事評価制度を導入する。他職種への導入については，引き続き検討を行う。

また，計画的なプロパー職員採用及び有期職員の活用等により，効率的な組織運営体制の構築を図る。